

フロア構成

建物全体が五角形に近い平面形状であるため、十分な採光が採れるように、中央に中庭や吹き抜けを設けた回廊型校舎としています。中庭や吹き抜けの周囲を通路とし、建物の外周に諸室を配置しました。管理諸室は1階に収め、校庭側には職員室を配置しています。



練馬区立 豊玉第二中学校

豊玉第二中学校は、敷地の西側に環状七号線、南側に隣地を挟んで目白通りとの一角に位置しています。

昭和37年に開校し、これまで多くの生徒が学び、また地域に親しまれてきました。

新校舎も、引き続き生徒や保護者の皆様、地域の皆様から、50年・100年と愛され続けることを願っています。



施設規模等

校舎棟：鉄筋コンクリート造4階 延床面積 7,058㎡ 平成26年11月竣工
 設計・監理：株式会社 石本建築事務所
 施工：コバ・石野・藤島建設共同企業体 小林・山幸・横田建設共同企業体
 太平・丸電・小野建設共同企業体

所在地 〒176-0012 練馬区豊玉北2丁目24番5号
 ホームページ <http://www.toyotama2-j.nerima-ky.ed.jp/>

練馬区立 豊玉第二中学校

豊玉第二中学校は、校舎が建築後50年を経過しており、経年劣化や教育内容・教育方法等の変化などに対応する必要もあることから、改築により校舎の耐震化を行うこととしました。



施設の特徴



スクールラウンジ

学校を中心に位置し、生徒同士や生徒と教師との交流空間、生徒の動線の中心となる空間です。階段壁面には既存樹の桜を再利用し、既存校舎と共に育ってきた木の記憶を継承していきます。吹き抜けを介して2階の学年ラウンジを望むことができ、管理ゾーンとなる1階と教育ゾーンとなる2階を結ぶ交流・出会いの場となります。



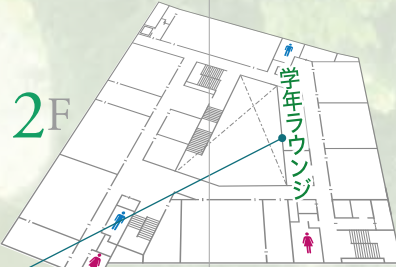
連携教室

普通教室4室分を集約し、「小中交流スペース」としました。小学生が体験授業を受けに來ない時期などは中学校の集会や教室としても使用できます。移動式パーティションにより、大空間から1教室単位まで様々なタイプに活用でき、多用途に使用することが可能となっています。学校の賑わいや雰囲気を感じることができる空間です。



武道場

武道必修化に伴う円滑な実施を図るため、校舎内に武道場を整備しました。柔道で使用する畳等を収納するための器具庫や、ダンスレッスンにも対応できるように壁面には鏡を設置しています。



ラーニングゾーン

図書室、パソコン室、和室をラーニングスペースが結ぶ一体的空間としています。和室は、多目的に使われるラーニングスペースと一体的に使うことにより、生徒がよりリラックスした環境で本や勉強と向き合える環境となります。中庭に面した造りは、学習環境の場を広げます。



学年ラウンジ

生徒や先生との学習および生活の場となり、快適な居場所として、学年毎に学年ラウンジを設けました。回廊型の廊下は、中庭に面し、明るく開放的です。可動式の掲示板は掲示物の多い時期等に活用され、掲示物が生徒たちの日常に密に接した環境をつくりだすよう工夫しています。



普通教室

環状七号線から離れた最も良好な環境になると考えられる東側に、校庭に面した普通教室を配置しました。学校生活の中心となる教室に優先的な配慮をしています。



その他の設備

- 環境配慮 …… 太陽光発電設備(20kw)、雨水をトイレ洗浄水に利用、屋上緑化、LED照明 ※太陽光発電設備は平成27年3月完成予定
- 防災施設 …… 別棟1棟(約50㎡)および校舎4階(約30㎡)に防災備蓄倉庫を設置
- バリアフリー … エレベーター、だれでもトイレ、階段手すりの設置など
- 給食施設 …… 学校給食の充実を図るため約360食分を調理できる自校調理場

